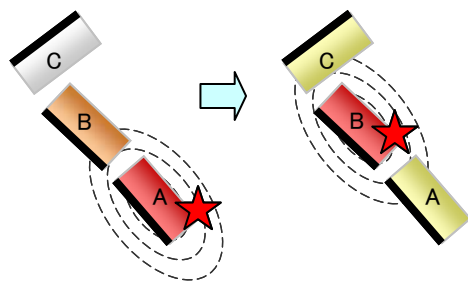




## (2) 地盤に働く力の状況に着目した検討

活断層は繰り返し活動する。活動（断層の破壊）に伴い地盤中の力のバランスが変わり、他の断層に作用する力に影響を及ぼし、その結果、断層破壊が誘発される場合（連動）がある。この連動破壊の発生間隔（再来期間）を検討した結果、着目した活断層同士が連動する可能性は極めて低いと判断した。

### 検討のイメージ



断層Aが破壊  
↓  
断層Aは力を解放し、  
周辺地盤の力の状態が変化  
↓  
断層Bも破壊  
(AとBが連動)

数多くの計算を実施し、Aと  
Bが連動する場合の発生間  
隔(再来期間)を求める。

着目した活断層同士が連  
動する可能性は極めて低い。  
(右表)

着目した活断層	再来期間 (年間)
①柳ヶ瀬断層 と ウツロギ峠北方～池河内断層	>1,000,000
②柳ヶ瀬断層南部 と ウツロギ峠北方～池河内断層	約 460,000
③柳ヶ瀬断層南部 と ウツロギ峠北方～池河内断層 南部 と 浦底～内池見断層北部	>1,000,000
④浦底～内池見断層 と 敦賀断層	>1,000,000
⑤浦底～内池見断層 と 白木～丹生断層	>1,000,000
⑥C断層 と 白木～丹生断層	>1,000,000
⑦C断層 と 三方断層	>1,000,000
⑧三方断層 と 花折断層	>1,000,000
⑨大陸棚外縁～B～野坂断層 と 敦賀断層	>1,000,000
⑩大陸棚外縁～B～野坂断層 と 白木～丹生断層	>1,000,000
⑪大陸棚外縁～B～野坂断層 と C断層	>1,000,000
⑫大陸棚外縁～B～野坂断層 と 三方断層	>1,000,000
⑬FO-A～FO-B断層 と 熊川断層	約 470,000
⑭和布～干飯崎沖～甲楽城～柳ヶ瀬～鍛冶屋～関ヶ 原断層	>1,000,000
⑮ウツロギ峠北方～池河内断層南部 と 浦底～内池 見断層北部	約 920,000

数値は1万年単位で切り下げ

## (3) 総合評価

連動の可能性を検討した活断層について、地形及び地質構造の形成過程（テクトニクス）、応力の状況等を考慮しても新たに連動を考慮する必要はないと評価した。

### データ拡充のための調査の実施



## 4. 今後の対応

今後も、活断層の連動に関する情報収集に努め、新たな知見については今後の評価に適切に反映していく。この観点から、熊川断層周辺、柳ヶ瀬断層南方等において調査を実施し、データの拡充を図ることとする。